



平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 日本ゼオン株式会社
代表者名 取締役社長 古河 直純
(コード番号：4205 東証・大証 1 部)
問合せ先 常務取締役執行役員 南 忠幸
(TEL：03-3216-1412)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 13 日に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想及び平成 20 年 5 月 20 日に公表しました平成 21 年 3 月期の 1 株当たり配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想の修正

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	300,000	18,000	18,000	10,000
今 回 修 正 予 想 (B)	270,000	4,000	5,000	1,000
増 減 額 (B-A)	△30,000	△14,000	△13,000	△9,000
増 減 率 (%)	△10.0	△77.8	△72.2	△90.0
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	302,925	25,268	20,638	9,092

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	200,000	17,000	19,000	10,000
今 回 修 正 予 想 (B)	172,000	6,000	8,000	3,000
増 減 額 (B-A)	△28,000	△11,000	△11,000	△7,000
増 減 率 (%)	△14.0	△64.7	△57.9	△70.0
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	186,739	16,964	17,472	10,445

(3) 修正の理由と今後の対策

米国金融危機に端を発した世界規模での経済情勢の混乱と景気の急減速にともない、当社を取り巻く経営環境は第3四半期以降、急激に悪化してまいりました。特に当社グループにおいては、主要関連業界である自動車、同部品業界や電子、光学、液晶関連業界において販売不振に伴う急激な生産調整、在庫調整が想定を超える規模とスピードで行われたため、販売量の減少が顕著になり、加えて急速な円高の影響を受け、業績が急速に悪化することが予想されます。

以上のような状況を踏まえ、上記のとおり業績予想を修正いたします。

当社グループは直面する危機を乗り切るため、ZΣ運動による徹底したコスト削減に加え、役員報酬の減額を実施するほか、緊急対策として経費全般のゼロベースでの見直しを行ってまいります。また、安全や品質関連を除く投資の厳選と投資額の大幅な圧縮および需要減少に対応した生産調整、在庫圧縮の徹底などの対策を実施してまいります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回予想 (平成20年5月20日発表)		6.0	12.0
今回修正予想		未定	未定
当期実績	6.0		
前期(平成20年3月期)実績	6.0	6.0	12.0

(2) 配当予想修正の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、株主の皆様へ安定的、継続的に配当していくことを基本としております。しかしながら、通期の業績予想が大幅に悪化することから、期末配当金につきましては、「未定」とさせていただきます。当期の通期業績および来年度の業績見通し等を総合的に勘案した上でご提案させていただきます。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上